

【主担当部局：農林水産部】

県民の皆さんとめざす姿

食への期待が多様化する中、農林水産業や関連産業等に関わるさまざまな主体によって創出された新たな価値が地域資源を活用した商品等の開発に生かされ、商品として提供されることで、県民の皆さんの豊かな暮らしや「もうかる農林水産業」の実現につながっています。

平成 31 年度末での到達目標

「みえフードイノベーション」や食のバリューチェーンの構築、農林水産業技術の開発と移転などの取組を進める中で、地域資源などを生かして新たなビジネスに取り組む農林水産業者や企業、地域などが増加するとともに、こうした事業者を含む多様な主体の連携が強化、高度化することで、新たな需要の開発や市場の開拓など社会の成熟化に伴うさまざまな期待に対応した取組が拡大しています。

県民指標						
目標項目	27 年度	28 年度		29 年度	30 年度	31 年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
魅力ある県産農林水産物や加工品が販売されていると感じる県民の割合						(検討中)
	(調査中)					
目標項目の説明	みえ県民意識調査で、魅力ある県産農林水産物や加工品が販売されていると「感じる」「どちらかといえば感じる」と回答した県民の割合					
28 年度目標値の考え方						

活動指標							
基本事業	目標項目	27 年度	28 年度		29 年度	30 年度	31 年度
		現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
31101 食のバリューチェーン構築による新たなビジネスの創出(農林水産部)	「みえフードイノベーション」から生み出される商品等の売上額(累計)						19 億円
		4 億円 (26 年度)					
31102 農林水産技術の研究開発と移転(農林水産部)	農林水産技術の開発成果が活用された商品等の数(累計)						315 件
		155 件					

基本事業	目標項目	27年度	28年度		29年度	30年度	31年度
		現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
31103 県産農林 水産物の魅力 発信（農林水産 部）	魅力発信によ り生み出され た企業との連 携（累計）						200社
		—					
31104 イノベー ションを担う 人づくり（農林 水産部）	「みえ農林水 産ひと結び塾」 における人材 養成数（累計）						40人
		—					

現状と課題

- ①経済のグローバル化や国内市場規模の縮小など、農林水産業や関連産業等を取り巻く厳しい経営環境の中、伊勢志摩サミットや全国菓子大博覧会などの開催を本県の食や木の魅力を国内外に発信していくための絶好の機会として捉え、農林水産物などの地域資源を活用した商品の開発や新たな市場の開拓等を加速する必要があります。
- ②「三重ブランド」の認定や「みえフードイノベーションプロジェクト」の活動促進など、地域資源の高付加価値化に向けた取組を通じて、農林水産業者や関連産業事業者等による成功事例が生まれてきています。今後も、こうした事例を創出し、「もうかる農林水産業」の実現につなげていくためには、従来の取組に加えて、消費者の皆さんに提供していく価値の最大化を図るうえで効果的な、食に関係する事業者の有機的な連結を促していく必要があります。
- ③消費者への県産農林水産物の情報発信は、十分とはいえないことから、その価値や魅力を的確に消費者などに伝えていく取組を強化する必要があります。
- ④農林水産業の分野でも、植物工場や農林水産物の機能性の活用に取り組む経営体が育ってきているものの、一部に留まっていることから、イノベーションを創出する人材やICTやビッグデータなどを活用できる人材を確保・育成する必要があります。

平成28年度の取組方向

- ①県産品が広く認知され、競争力を強化できるよう、産学官ネットワーク等による「みえフードイノベーション」のさらなる拡大に取り組むとともに、ネットワーク等の活用により、サミット関連行事への県産農林水産物の活用促進や、大手企業との連携による全国展開を見据えた商品やインバウンドに対応した商品の開発・販路開拓などに取り組めます。また6次産業化サポートセンターを設置し、6次産業化に取り組む意欲ある生産者等への支援に取り組めます。
- ②みえフードイノベーション・ネットワークによる取組の効果を最大化するため、食のバリューチェーンの構築に取り組めます。特に、生産現場でのICTの導入・活用による、労働効率の最適化、流通販売と連携した生産管理体制の構築に取り組むとともに、県産農林水産物の機能性表示食品の届け出に向けた支援や、高機能性農産物の導入及び産地化等に取り組めます。

- ③農林水産業に係る研究、技術開発をマーケットインの視点から構築し、その成果を積極的に事業者に移転、それらの研究成果による新たな商品、サービスの提供に向けた取組を支援します。
- ④県産農林水産物の認知度向上、魅力発信のため、企業と連携し、地産地消の推進はもとより、三重ブランドのさらなるブランド力向上と魅力発信などに取り組みます。また、第3次三重県食育推進計画（仮称）を策定し、食育の啓発等に取り組みます。
- ⑤農林水産業における高付加価値化や生産性の向上に向け、新たな技術開発をはじめ、ICTやビッグデータなどの活用ができる人材の育成に取り組むとともに、交流や知識の共有等を図る「食の人材ネットワーク」の構築に向け、各分野から人材を募集し、課題解決型のワークショップを実施します。

主な事業

- ①みえフードイノベーション総合推進事業【基本事業名：31101 食のバリューチェーン構築による新たなビジネスの創出】
予算額：(27) 169,504千円 → (28) 123,261千円
事業概要：「みえフードイノベーション」のさらなる拡大に取り組むとともに、サミット関連行事への県産農林水産物の活用促進に取り組みます。また6次産業化サポートセンターを設置し、6次産業化に取り組む意欲ある生産者等への支援に取り組みます。

- ②みえの食バリューチェーン構築事業【基本事業名：31101 食のバリューチェーン構築による新たなビジネスの創出】
予算額：(27) — 千円 → (28) 11,890千円
事業概要：生産現場でのICTの導入・活用による、労働効率の最適化等に取り組むとともに、県産農林水産物の機能性表示食品届け出に向けた支援及び高機能性農産物の導入や産地化等に取り組みます。

- ③植物工場実証パイロット事業【基本事業名：31102 農林水産技術の研究開発と移転】
予算額：(27) 8,411千円 → (28) 7,233千円
事業概要：農業研究所内に整備した太陽光利用型植物工場において、県内野菜生産額の多いトマト、イチゴについて、低コスト化、周年栽培の実証を行うとともに、実証技術を普及・拡大させるための人材育成に取り組みます。

- ④戦略的ブランド化推進事業【基本事業名：31103 県産農林水産物の魅力発信】
予算額：(27) 5,524千円 → (28) 2,704千円
事業概要：特に優れた県産品とその事業者を審査、認定する「三重ブランド」の運用とともに、審査過程で明らかになった課題などのフィードバックにより事業者の品質向上などの取組を支援します。

- ⑤県産品のエキスパート人材の育成・確保事業【基本事業名：31103 県産農林水産物の魅力発信】
予算額：(27) 7,131千円 → (28) 6,830千円
事業概要：販売店などの現場で、県産品の魅力を消費者に的確に伝えるとともに、消費者ニーズを生産者にフィードバックすることで商品開発に結び付けられる、エキスパートな人材育成に取り組みます。

⑥（新）農林水産ひとむすび塾事業【基本事業名：31104 イノベーションを担う人づくり】

予算額：(27) 一 千円 → (28) 3,150千円

事業概要：農林水産業における、生産、流通、加工、販売や研究等の各分野から、イノベーションへの意欲的な人材を募集し、人材間連携を構築するためのワークショップ等を実施します。